

# がんばりすど

各種大会で優秀な成績を取  
めた方・団体を紹介します。

## ロボットセミナー全国大会で今回も清瀬市代表が大活躍

平成27年11月22日、芝浦工業大学芝浦キャンパス（港区芝浦三丁目）で「S・I・Tロボットセミナー全国大会」が開催され、清瀬市からは6人が出場し、今回も大活躍しました。

スパイダー部門（ピンポン玉を運ぶ数を競う競技）では、小林駿斗さん（三小6年）が、ローラーで巻き込んで球をすくいあげる方式で20個すべてのピンポン球を一気に運び優勝し、門田幸典さん（三小6年）が、巧みなロボット操作で3位に入賞しました。また、スパイダーのデザインコンテスト部門では、松本海星さん（清小6年）が準優勝しました。

ボクサー部門（6本足歩行のロボット同士を闘わせる相撲形式の競技）では、渡辺亮太さん（二中2年）が相手の



左から順に、松本さん、門田さん、小林さん、市長、渡辺さん

動きを見ながら攻撃を仕掛け、見事優勝しました。また、渡辺さんはデザインコンテスト部門とのダブル優勝を果たしました。

## 日本空手連盟選手権大会で入賞

平成27年12月6日、所沢市民体育館（埼玉県所沢市並木五丁目）で、「日本空手連盟選手権大会」が行われ、誠真会館清瀬道場から次の7人が入賞しました。（敬称略）

小学6年生の部3位 行田渚伶、中学生男子初級軽量級優勝 神田一瑛、中学生男子上級中量級優勝 青野涼、シニア男子上級軽量級優勝 辻谷和輝（2連覇）、一般男子初級軽量級3位 萩原尚輝、一般男子初級重量級準優勝 細川慶太郎・同級3位 武藤恵太



入賞した皆さん

## 中学生が「税についての作文」「税の標語」で表彰

平成27年12月16日、中学生の「税についての作文」「税の標語」表彰式が行われました。この事業は、税を正しく理解し、考える機会を持つための租税教育推進活動の一環として実施されているものです。今年度は下表の20人・1校が受賞されました。

税についての作文		税の標語	
清瀬市長賞	野口 南砂 (清中3年)	清瀬市長賞	勝又 莊太 (東星学園中3年)
清瀬市教育長賞	渡邊 杏実 (清中3年)	東村山税務署長賞	西田 響 (四中3年)
清瀬市租税教育推進協議会会長賞	森岡 寧々 (二中3年)	清瀬市商工会会長賞	堀田 ののか (清中1年)
東京都立川都税事務所賞	ラナ 綺 (二中3年)	東村山間税会会長賞	望月 結羽 (四中3年)
東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞	星 千夏 (二中3年)	全国間税会総連合会入選	磯部 朝陽 (二中3年)
東京納税貯蓄組合総連合会会長賞	佐藤 秀磨 (四中3年)	全国関税会総連合会入選	高橋 愛華 (清中1年)
多摩武蔵納税貯蓄組合連合会会長賞	須田 美優希 (東星学園中3年)	東京国税局間税会連合会入選	坂本 千夏 (五中3年)
一般社団法人東村山青色申告会会長賞	石川 ゆき香 (三中3年)	一般社団法人東村山青色申告会会長賞	山崎 裕也 (五中3年)
公益社団法人東村山法人会会長賞	坂本 千夏 (五中3年)	公益社団法人東村山法人会会長賞	水出 伶音 (二中3年)
東京税理士会東村山支部支部長賞	宮城 和枝 (五中3年)		
多摩武蔵納税貯蓄組合連合会 学校感謝状	清瀬中学校		

(敬称略)

# 3本の木ととも

51分間、行列に並び参拝しました。1月3日、日枝神社です。実にたくさんの方が訪れ、車列もけやき通りにあふれて、渋滞解消策が今後の課題となるほど3日間がにぎわいました。太古の昔、東征の折に日本武尊が境内の柊の根元に休み、「なんとすがすがしい場所だろう」とのたまった場所にできた神社です。から、「パワースポット」です。

特に申(猿)年は、日枝神社にとつてご縁があります。それは千200年の歴史を持つ府中、大國魂神社宮司猿渡(サワタリ)家との関係です。故星野前市長のお父上、前々星野宮司がかつて10年ほど猿渡家の代わりです。大國魂神社の宮司を務められたのです。もちろん、大先輩である当時の猿渡宮司から信頼されていたか

らこそです。だから、申年の勢いは日枝神社から始まり、5月21日に更に開演します。それは、清瀬が主な舞台となつた映画「海よりもまだ深く」の全国公開開始です。阿部寛さん、真木よう子さん、樹木希林さんらが出演しています。そして監督は、旭が丘団地で9歳から28歳まで暮らした、是枝裕和さんです。当然、カンヌ映画祭にも出品されるでしょう。ありがたいかな、是枝の漢字に「日」「枝」が入っています。きっとご縁が深いのでしよう。

さて、翌4日にも感動した報告がありました。昨年9月、「中学生の主張東京大会」(東京都・こころの東京革命協会・独立行政法人国立青少年教育振興機構主催)で、応募者6千843人のなか、清中3年の女生徒が中1の時に参加した「ピースエンジェルズ」の体験をまとめ、2

番の賞を受けたのです。抜粋して一部紹介します。

「私は広島へ行き様々な事を学びました。今、私が生きているという事がとても幸せだという事。そして家族と一緒に暮らせるということ。他にもたくさんあります。温かいご飯をお腹一杯食べられる事。制服を着て、学校で友達と一緒に笑っているという事。私が当たり前のようになっている事がとても幸せな事なのです。これから私は自分の命、人の命を大切に、今を精一杯生きようと思います。」

彼女が、小2の時、大きな悲しみを経験しているのです。それを乗り越え、すがすがしい心になったのです。「手をつなぎ心をつむぐみどり」の清瀬の誇りです。年明け良いスタートです。

清瀬市長

茨谷金太郎

# まちかどニュース

身近なイベントや、まちかど  
の話題を皆さんから募集して  
います。

## 金山調節池に「シベリアアオジ」が来訪



シベリアアオジの雄  
写真：中里在住吉田  
洋氏  
文責：清瀬の自然を  
守る会 富田公三氏

アオジは、秋冬になると、越冬のために北海道・東北から南下し、関東以西の住宅地や、都市公園、雑木林、やぶなどにおびただしい数が飛来し、群れで生活するホオジロの仲間です。この群れのなかに、春秋の渡りで主に日本海側や九州以西を通過する亜種のシベリアアオジがごくまれに混ざって飛来することがあります。シベリアアオジは、アオジに比べて頭部に緑色味がないなどの特徴がありますが、アオジとの見分けは難しく、熟練した探鳥家でないとは判別が困難です。

また、本土ではめったに見られない野鳥で、市内では過去にシベリアアオジが確認できた記録はありませんでしたが、平成26年1月に金山調節池で見られ、平成27年12月初旬に、体下面が白っぽく胸から上が黒灰色、頭部に緑色味のない雄個体の姿が再び確認されました。

# 清瀬 こども俳句

小・中学生の俳句を紹介する  
コーナー。ぜひ応募ください。  
選評：石田波郷俳句大会実行委員会

- 花火には人の思いがこめられた  
(評) 単に「きれいだ」「すごい」ではないという工夫ができるのが成長。 外波 成悟
- 夏の海夕焼けのみこみほしのうみ  
(評) 夕焼けから星空に変わっていく時間帯。中七表現が素晴らしい。 千々和 駿
- あせ飛ばし必死に守るゴール前  
(評) 俳句は季節が命。夏の季節「汗」も、こう使われて大満足だろうね。 石原 海理
- 扇風機早く来ないかばくの風  
(評) 中七下五で首ふりだとわかる。俳句はストレートに説明してはだめ。 島田 匠
- あさがおと早おきしようぶまたまけた  
(評) 花だけではなく、対象の別の面に注目してみるのも名句への道だ。 矢野 碧
- 夏ぼうしあなたの元へとんで行く  
(評) 季節と中七下五の自分の気持ちの取り合わせ。季節は気持ちの象徴。 高山 万葉
- 海の家海のおいと夏の風  
(評) まさに「海の家」とはそういうもの。第一印象を大事にしようよ。 雪吹 和花
- 夏の夜に一の字を書く流れ星  
(評) 俳句も詩。自分らしい表現を求めよう。この句では中七がそれ。 浅井 莉流

※今回の俳句は、三小(5年生)で行った「出前俳句教室」からの選句です。